

【終了報告書】

研修先大学/ 活動先機関名	University of York	参加 プログラム名	ヨークプログラム	国名	イギリス
氏名		学籍番号		学科	英語英文学科
参加時の 学年	3年	参加費用 (日本円での概算)	約75万円		
参加日程	2024年 6月 30日 ~ 2024年 7月 25日 (3 週間)			記入年月日	2024年 10月 31日

① 参加前について

研修・活動に参加する目標は何でしたか。

英語のSpeakingの経験を多く積むため。以前IELTSの試験を受けた際にSpeakingの点数が著しく低く、実際に英語を話さなければいけないと感じた。日本で英会話等のレッスンを受けているわけでもないのに、どうしようかと思っていたところ、語学研修の案内を見つけ、一度英語のみの環境にいるという経験をすることが語学力の向上にもつながるのではないかと考え語学研修に参加した。イギリス文学文化専攻であるため、実際に現地の文化や文学に触れることができるということもイギリスを選んだ理由だった。

② プログラムについて

研修・活動の感想

教室内での授業もちろんあったが、フィールドワークが多かったことが印象に残っている。ヨークについて授業で学んだ後に実際に街に出て回ってみると知識を入れてからではないと見えてこないことが多くあり、とても興味深かった。さらにresearch projectではヨークの人たちにインタビューをして統計をとり、英語話者にも伝わるような英語を話すこと、英語を用いて相手に伝えること、相手の言葉をすぐに理解して会話を繋げることなど、自分から英語を話すことが常に求められているように感じた。

研修・活動以外の部分についての感想

授業後や週末など自由な時間が多く、市街をまわったり、ホームステイ先で過ごしたりしていた。ホームステイ先がとても親切な家庭で週末に市内のさまざまなところに案内してくれた。観光地ではない場所の姿や、現地の文化などを体験させてもらい貴重な機会を与えてくれたことにも感謝している。週末にロンドンに旅行に行くなどとても充実した休日を過ごすことができた。

現地学生との交流について教えてください。 ※交流がなかった場合は、空欄で構いません

メンターとしてソーシャルアクティビティを運営している学生が開いているsocial activityに参加したり、授業の一部(主にフィールドワーク)に現地学生が参加したりするなどの交流があった。ゲームをしたり、映画を見たり、ボーリングに行ったりするなどさまざまなアクティビティに参加でき現地の空気感を感じることができた。また、現地学生ではないが、別の教室で香港の大学の語学研修を行っており、その学生とも休み時間に話していた。

③ 参加の成果について

今回の参加を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

自分が当初想像していたよりも英語を用いてコミュニケーションをとることができたと思っている。しかし、個人的な話ではあるが、とにかくずっと英語を話すという目標を立てて研修に行ったため、日本人学生で集まってしまうとどうしても日本語を話してしまうことがとても悔しく感じていた。現地学生やホストファミリーと話しているときに、時制が混ざってしまったり、違っていたり、咄嗟に名詞が出てこなかったりしたことが多かったため、瞬時に正しい時制を扱い、語彙を増やそうというこれからの学習で強化すべきことを洗い出すことができたと思う。文化の違いに驚くことはあったが、すぐにいい悪いを決めつけるのではなく、様々な面から検討してから、自分が受容可能かどうかを考えるという異文化理解に大切なプロセスが身についたのではないかと感じた。

④ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

参加当初は初対面の人たちばかりで、不安でいっぱいだったが、三週間の研修を通してそれぞれが協力して課題を行ったり、週末に遊びに行ったりしていたため、普段関わらない総合政策学科の学生などとも交流できたのがとても良かったです。海外保険やホームステイ先など丁寧に案内してもらえるので安心して海外に行くことができるいい機会だと思います。

国際センターのHPに掲載してもよい写真があれば添付してください。キャプションもつけてください。



York Minsterの内部



York Minsterの外側、central towerのツアー



Betty's Tea Room



シャムブルズ通り
Shambles



ヨーク市内の様子



授業の休憩時間



学外学習にて
映画ハリーポッターのロケ地
Gothland station